

みの EDO

発行：多治見市美濃焼タイル振興協議会
TEL 0572-43-2141
発信：多治見市・笠原町東京情報局
TEL 03-5225-6863

「多治見市 駅北庁舎」2015年1/5 オープン!! — 美濃焼タイルが絢爛に彩る新庁舎 —



①全景（南側）



②北側外観



③北側外観



④北側アプローチ（車寄せ）



⑤正面玄関

多治見市庁舎を補完する分庁舎として多治見駅の北口に建設が進められていた「駅北庁舎」が昨年末に竣工し、1月5日に待望のオープンとなった。

全国一のシェアを誇るモザイクタイルの生産地にふさわしく、地場産業の美濃焼タイルが随所に用いられ絢爛に彩る。市民課等の市役所窓口部門、保健センター、子育て支援に関わる窓口が集約された、その新庁舎のタイルの見どころと建築概要をご紹介します。



⑥ 1階ロビー



⑨ 1・2階吹抜け構造



⑩ 1階待合壁タイル



⑦ 1階待合



⑪ 階段室 壁タイル



⑫ 1階ロビー床タイル



⑧ 2階多目的スペース

駅北庁舎 建設概要

1. 施設計画

[目的]

本庁舎の「老朽化、耐震性能が低い、狭あい」の課題に対し、分庁舎を整備することとした。分庁舎（駅北庁舎）の施設コンセプトとして以下の4点を掲げた。

①窓口行政サービスの充実、②健康づくり。次世代育成・親育ち4・3・6・3、③情報。防災の機能を配置、④中心市街地の活性化とコンパクトシティの起点となる拠点

[設計コンセプト]

①市民サービスを提供しやすい、利便性の高い庁舎（公共交通の結節点である多治見駅近接地を選定）

②地震災害に強く、安心・安全な庁舎（免震構造による安全性の確保）

③市民に開かれた、にぎわいを生む庁舎（1・2階ロビー、屋外広場などに交流スペースの設置）

④使う人の視点に立った、人にやさしい庁舎（バリアフ

リー対策の実施）

⑤自然と共生するエコ庁舎（太陽光発電設備、雨水利用設備の導入）

⑥多治見らしさを表現する、街並みに調和する庁舎（地場産業の美濃焼タイルの活用）

2. 施設概要

住 所：多治見市音羽町1丁目71番地の1

敷地面積：3,553.93㎡

建物用途：事務所（市役所）

面 積：建築面積2,324.10㎡（建蔽率65.46%）、延床面積9,729.69㎡（219.02%）構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造地上5階地下1階建て（柱頭免震構造）、基礎形式：直接基礎

最高高さ：26.945m（地上5階建）

附帯施設：駐車場60台、他

3. 受注事業者

設計者：久米・日比野設計共同体



⑬エレベーターホール（1階）



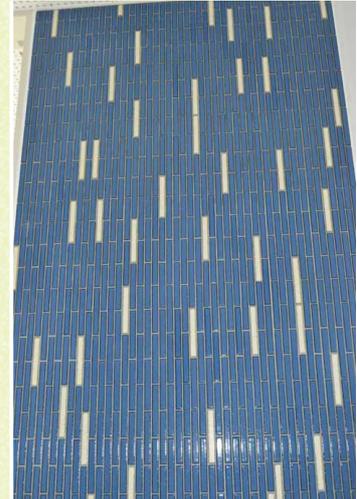
⑭エレベーターホール（2階）



⑮エレベーターホール（3階）



⑯エレベーターホール（4階）



⑰エレベーターホール（5階）



⑱女子トイレ壁タイル（2階）



⑲男子トイレ壁タイル（3階）



⑳多目的トイレ壁タイル（1階）

施工者：建築工事 大日本・飯田特定建設工事共同企業体、他

4. 工期

○契約期間：平成 25 年 6 月 28 日～平成 26 年 11 月 25 日（供用開始：平成 27 年 1 月 5 日）

5. 地場産品（美濃焼タイル）の活用

(1) 内外装：地場産品である美濃焼タイルの活用により「多治見らしさ」を演出。

①外部

- ・柱型：せつ器質ボーダータイル
- ・壁面：（東面、南面、北面）磁器質 300 × 600、300 角タイル、（西面）：クールアイランドタイル

②内部

- ・床（屋外広場、1 階）：磁器質 300 × 600、300 角タイル
- ・柱型：せつ器質ボーダータイル
- ・壁面：（EV ホール、トイレ）：磁器質モザイクタイル、（階段室）：せつ器質ボーダータイル
- (2) タイルアート：4F 大ホールロビー及び屋外広場壁面及び免震ピットにタイルアートを設置
- ① 4 階ロビー壁面タイル：虎溪山徳林院の襖絵「雲龍図」の製作を手がけている若手画家の木全靖隆（やすのり）さんのデザインにより、従来の陶壁ではなくタイル壁画を設置



㉑屋外広場モザイクタイルアート



㉒屋外広場モザイクタイルアート（部分）



㉓屋外広場モザイクタイルベンチ



㉔屋外広場モザイクタイルアート（部分）



㉕4階ロビー 壁面タイル壁画



㉖4階ロビー 壁面タイル壁画（部分）



㉗保健センター 壁タイル



㉘免震ピットタイルアート

作品名：「大雲龍図」、大きさ：縦 2.6 m×横 8.4 m

㉑屋外デザインタイル：地元多治見工業高校のデザインによるデザインタイル

a 屋外広場モザイクタイルアート：多治見工業高校デザイン科 日比野稜未（ひびのいずみ）さんのデザイン。小学校、多治見工業高校、一般市民の参加（950名）により製作。大きさ縦 2.6 m×横 33.59 m

作品名：「華やかな街」（多治見市の花「キキョウ」を使って、

市がさらに明るくなるような願いを込めて描きました。）

b 免震ピットタイルアート：多治見工業高校デザイン科 田中郁乃（たなかいくの）さんのデザイン。一般市民の参加（658名）によるメモリアルタイルを組入れ。大きさ縦 0.7 m～1.9 m×横 133 m

作品名：「自然豊かな街」（緑の葉っぱを使って、多治見市の豊かな自然をイメージして描きました。）

[多治見市提供の資料より]

かさはら窯ぐれ祭り実行委員会が技能五輪会場に出展—— 碧南市臨海体育館でタイルアート体験指導！



〈かさはら窯ぐれ祭り実行委員会〉のタイルアート無料体験コーナー



テント内はあふれんばかりの大盛況！



多くのお子さんたちもタイルアートを体験



モザイクタイルを並べて楽しむ参加者！



少年少女発明クラブによる壁画完成図



保育園児による壁画完成図

全国に先駆けて「モザイクタイル」を誕生させた美濃焼の町・多治見市笠原町でタイル企業、食器企業等で構成する〈笠原陶磁器工業協同組合（かさはら窯ぐれ祭り実行委員会）〉は、昨年、愛知県で開催された第52回技能五輪全国大会・タイル張り競技会場となった〈碧南市臨海体育館〉周辺で、多治見市と碧南市とが協力して、「タイルアート体験」事業を実施した。

11月29日（土）～30日（日）に技能五輪全国大会「タイル張り」競技の行なわれた〈碧南市臨海体育館〉の会場周辺では「西三河物産市」と銘打ってさまざまな出店やイベントが開催されたが、その一角でくかさはら窯ぐれ祭り実行委員会は、碧南市との「タイルアート体験コーナー」を出展。笠原町のモザイクタイルを提供して、両日にわたってタイルアート制作の無料体験コーナーを実施、指導にあたった。

モザイクアート完成に向けて

今回、技能五輪全国大会を機縁に企画された「タイルア

ト事業」は、碧南市の公募による優秀作である少年少女発明クラブ及び保育園児が描いた原画をもとに、縦1,800mm×横3,000mm（300mm角シート60面）モザイク壁画の完成図2枚を作成、少年少女発明クラブ及び保育園児を含む市民及び会場来場者に参加（体験）していただき、各日1作品（各60枚のモザイクシート）ずつ制作してもらおうというもの。

技能五輪盛況のもと会場には大勢の参加者が殺到して、瞬く間のうちに制作が終了した。出来上がったモザイクシートは本年1月中旬までに、一般社団法人全国タイル業協会中部支部が、明石公園（碧南市明石町6番地11）と、ものづくりセンター（碧南市汐田町1-1-2）に施工する運びとなっている。完成したタイルアート壁画の除幕式は2月11日、両市長をはじめ碧南商工会議所会頭、多治見美濃焼タイル振興協議会長その他関係者出席のもと、行なわれる予定だという。こうご期待！

第52回技能五輪全国大会 2014 開催—— 熱戦のタイル張り競技で、栃木県の選手に栄冠！



優勝（金賞）の渡邊選手（栃木県）



「タイル張り」課題完成例（優勝選手）



「タイル張り」の出場選手と競技委員・役員の皆さん



技能五輪全国大会「タイル張り」競技に出場した9人の選手

「国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与るとともに、優れた技能に身近にふれる機会を提供するなど、広く技能の重要性・必要性をアピールすることにより、技能が尊重される気運の醸成を図ることを目的として、第52回技能五輪全国大会が、厚生労働省・中央職業能力開発協会・愛知県の主催で11月28日（金）～12月1日（月）までの4日間にわたって、愛知県体育館をはじめ名古屋市中小企業振興会館、中部職業能力開発促進センターなど県内各施設を会場に行なわれた。今回の大会テーマは「競え！ワザ、つながれ！ココロ、愛・チカラ。」

競技は、29日（土）～30日（日）の2日間。23歳以下の若者1127名が40職種でその技量を競い合った。タイル張り職種は出場選手9名、会場は碧南市臨海体育館（愛知県碧南市）を会場に熱戦が繰り広げられた。優勝・入賞は後記のとおり。12月1日には愛知県体育館にて閉会式が催され、成績発表と授賞式も執り行なわれた

なお、隔年で開催される技能五輪国際大会は、2015年にブラジル・サンパウロで開催される国際大会への派遣選手選考会をかねているため、優勝選手にはその出場資格が与えられる。

「タイル張り」職種の競技概要

■出場選手

渡邊雄也（栃木県／ハシモ㈱）

中庭 梓（群馬県／㈲仁工業）

川崎崇弥（東京都／不二窯業㈱本社）

朝倉海人（愛知県／協和建材㈱）

加藤佑弥（愛知県／協和建材㈱）

水原義治（愛知県／協和建材㈱）

加藤靖也（愛知県／㈱菅沼タイル店）

森下翔平（愛知県／㈱菅沼タイル店）

山本慎治（愛知県／㈱菅沼タイル店）

■競技時間

「タイル張り職種」の競技時間は、標準時間9時間30分（打切時間10時間30分）で、1日目9時～12時、13時～16時45分（15分休憩）、2日目9時30分～12時、13時～13時30分（標準時間）～14時30分（打切時間）という日時程で行なわれた。

■競技のポイント

課題は、壁および床を想定した下地にタイルを張り、目地つめを行なうもので、課題にはタイル張りに必要な要素をできるだけ取り入れており、様々な角度から若い選手の技術・技能とその作品を審査する。（今年の課題は完成例を参照）

■審査結果・入賞者

金 賞：渡邊雄也（栃木県／ハシモ㈱）

銀 賞：森下翔平（愛知県／㈱菅沼タイル店）

銅 賞：中庭 梓（群馬県／㈲仁工業）、加藤靖也（愛知県／㈱菅沼タイル店）
（以上、敬称略）

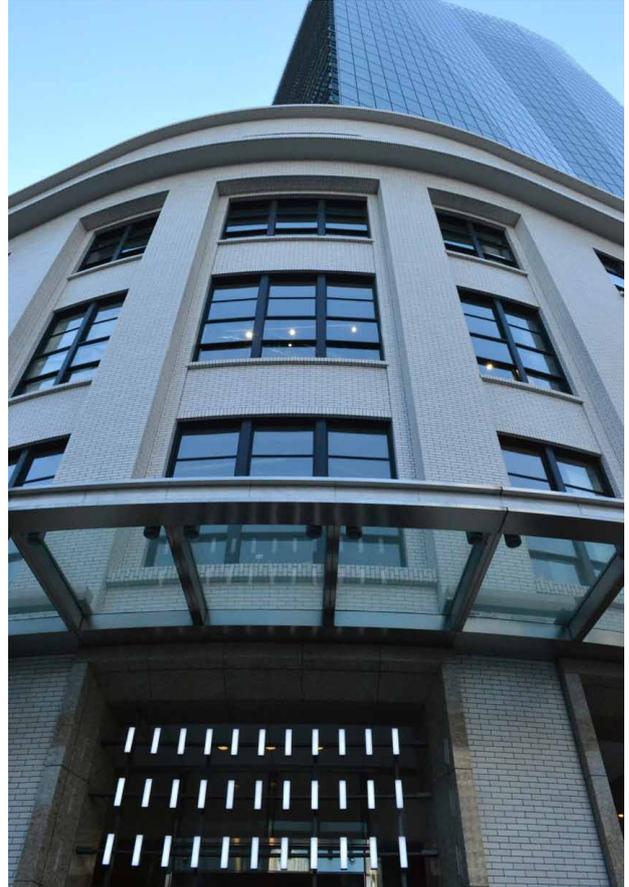
全国タイル工業組合 モザイクメーカーが訪う東京建築視察 東京駅 JP タワー～京橋・日本橋 複合ビル～虎の門ヒルズ



東京中央郵便局 外装タイル（役物タイルがすごい！）



東京中央郵便局 内装床モザイク



JP タワー 正面外観

全国タイル工業組合の小部会（小澤直樹 部会長・榎オザワモザイクワークス）では昨秋、「ジャパンホームショー 2014」の展出に合せて上京したのを機に、東京駅周辺から京橋・日本橋界隈の現代名建築・商業ビルなどの見学会を11月14日に実施した。この日は6社が参加。現代建築の粋と100年の風雪を経た歴史的名建築を今に遺す、リノベーションタイル施工例を中心に精力的に見て回った。見学場所と参加者の感想をご紹介します。

■ JP タワー [中央区丸の内2-7]：2012年竣工、7月より東京中央郵便局、ゆうちょ銀行本店等がJPタワーに移転・オープン。2013年3月に低層棟の商業施設「KITTE（キッテ）」がオープンし、JPタワー全体のランドオープン（地上38階）。旧東京中央郵便局は保存を考慮しつつ、建替・復元された。

■ 東京スクエアガーデン [中央区京橋3-1-1]：京橋駅直結のオフィス兼商業施設。1000坪超のフロアプレート

と充実の共用利便施設を有する環境配慮型オフィスビル24階。

■ 京橋 相互館 110 タワー [中央区京橋3-7-1]：建築家・辰野金吾設計の名建築「第一相互館」を建替・復元したオフィス&商業店舗の複合施設（2012年竣工・12階）

■ COREDO 室町2 [中央区日本橋室町2-3-1] / COREDO 室町3 [中央区日本橋室町1-5-5] 2014年3月、三井不動産が中心となって進める日本橋再生計画の一環で商業施設「コレド室町2」「コレド室町3」が開業、合せ68店舗が出店。内装タイルに見ごたえ。

すでに2010年に開業している「コレド室町」は2・3オープンに合わせて、「コレド室町1」と呼ばれる。

■ 虎の門ヒルズ [港区虎ノ門1-23-1] 地上52階超高層複合タワー。日本初進出のホテル「アンダーズ東京」を始め高級住宅とオフィス・商業施設を併設。14年6月開業。



東京スクエアガーデン エントランス壁タイル



東京スクエアガーデン 内装タイル



COREDO 室町2 エスカレータ壁タイル



COREDO 室町2 1階内装タイル

[見学会を終えて] (参加者コメントより)

○今回は、東京駅周辺の新しく竣工した商業施設を中心に視察しましたが、施設内の店舗・共用スペースに多くのタイルが施工され、焼物本来の色幅や形状を生かしたパターンや組合せ貼りが多く採用され、見ごたえがありました。特に印象に残ったのは、東京スクエアガーデンの湿式施釉タイル、コレド室町2商業施設内の湿式二丁掛と施釉二丁掛のパターン貼り。

○最近の新しい建物に共通した設計の考え方として、すべてに素材感のある材料を使用し、その建築のコンセプトを主張しているような印象を受けた。コレド室町の店

舗内装にはたくさんの特殊なタイルが使われていて面白かった。中央郵便局については、旧来のタイルを再現されたということで、難しい役物などよく作られたと感心した。

○商業施設でタイルを使用することは、定番化しつつあるように思えました。しかし一方で、新建材（軽量で大型か施工のしやすいもの）が台頭してきている感じがしました。商業施設で広い面積を貼る場合は、既製品のタイルを使用することは少なく、特注色・特注形状など設計サイドのこだわりが感じられます。その為、販売時には深い知識と様々な提案力が必要だと思いました。